

臨床心理学

Clinical Psychology

1 単位 (必修) 2 年 (後期)

伊賀 弘起 (授業責任者)・教授 / 口腔保健学科 口腔保健基礎学講座, 佐藤 健二・教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部
 原 幸一・准教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部, 境 泉洋・准教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部
 内海 千種・講師 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部, 福森 崇貴・講師 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

【授業目的】臨床心理学の理論と実際の基礎を学習することを目標とする。

【授業概要】他者の気持ちを理解し、共感し、自分の気持ち、考えを伝える能力は、患者、他職種とのコミュニケーションの上で、非常に重要である。また、心と身体は密接につながっており、身体的問題の理解に際して、その心理的側面の理解は不可欠である。したがって「心の問題」の理解と制御を扱う臨床心理学の基礎の習得は、ヘルスバイオサイエンスを基盤とする医学、歯学、薬学、栄養学、保健学領域において重要と言える。そこで、本講義では、臨床心理学の定義、対象、方法(代表的な心理検査、心理療法)について、初学者を考慮して、その基礎を概説する。

【授業形式】講義

【授業方法】講義形式。映像教材などを用いて、臨床心理学の理論と実際の基礎を学ぶ。

【授業場所】常三島キャンパス総合科学部 1 号館または共通教育 5 号館 (未定)

【授業テーマ】[授業テーマ]

【キーワード】[キーワード]

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】[関連科目]

【履修上の注意】本講義は、歯学科、口腔保健学科、保健学科、栄養学科、薬学科との合同の集中講義である。私語厳禁(他の受講生に迷惑)。

【到達目標】臨床心理学の理論と実際の基礎を理解する

【授業計画】

	大項目	中項目	担当
1.	臨床心理学とその対象	不安障害など	佐藤
2.	臨床心理学における測定方法	質問紙法、投映法など	福森
3.	無意識を重視する心理療法	催眠療法、精神分析、分析心理学	原
4.	すべての心理療法の基礎	クライアント中心療法	〃
5.	発達障害とその支援		〃
6.	臨床心理学的コミュニケーション総説	非言語的コミュニケーション	福森

7.	〃	言語的コミュニケーション	〃
8.	行動療法	系統的脱感作法、オペラント技法	境
9.	不登校・ひきこもりへの支援		〃
10.	非行への支援		〃
11.	うつ病に対する認知療法、認知行動療法		佐藤
12.	心身症に対する認知行動療法	摂食障害、歯科心身症等	〃
13.	外傷経験時の心理的問題とその支援	概説	内海
14.	外傷後ストレス障害への心理療法	持続エクスポージャー法を中心に	〃
15.	遊戯療法	虐待、外傷後ストレス障害との関連において	〃
16.	試験		佐藤・内海

【成績評価】筆記試験。100 点満点で 60 点以上のものを合格とする。

【再試験】行わない。

【教科書】

- ◇ 教科書: 使用しない。
- ◇ 参考書: 適宜、紹介する。

【参考書】[参考資料]

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217362>

【連絡先】

⇒ satoken@ias.tokushima-u.ac.jp

Clinical Psychology

1 unit (compulsory) 2nd-year(2nd semester)

Hiroki Iga(Manager) · PROFESSOR / FUNDAMENTAL ORAL HEALTH SCIENCE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, Kenji Sato · PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES, Kouichi Hara · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

Motohiro Sakai · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES, Chigusa Uchiumi · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

Takaki Fukumori · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

Target) 臨床心理学の理論と実際の基礎を学習することを目標とする。

Outline) 他者の気持ちを理解し、共感し、自分の気持ち、考えを伝える能力は、患者、他職種とのコミュニケーションの上で、非常に重要である。また、心と身体は密接につながっており、身体的問題の理解に際して、その心理的側面の理解は不可欠である。したがって「心の問題」の理解と制御を扱う臨床心理学の基礎の習得は、ヘルスバイオサイエンスを基盤とする医学、歯学、薬学、栄養学、保健学領域において重要と言える。そこで、本講義では、臨床心理学の定義、対象、方法(代表的な心理検査、心理療法)について、初学者を考慮して、その基礎を概説する。

Style) Lecture

Manner) 講義形式。映像教材などを用いて、臨床心理学の理論と実際の基礎を学ぶ。

Location) 常三島キャンパス総合科学部1号館または共通教育5号館(未定)

Theme) [授業テーマ]

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) 本講義は、歯学科、口腔保健学科、保健学科、栄養学科、薬学科との合同の集中講義である。私語厳禁(他の受講生に迷惑)。

Goal) 臨床心理学の理論と実際の基礎を理解する

Schedule)

	大項目	中項目	担当
1.	臨床心理学とその対象	不安障害など	佐藤
2.	臨床心理学における測定方法	質問紙法、投映法など	福森
3.	無意識を重視する心理療法	催眠療法、精神分析、分析心理学	原
4.	すべての心理療法の基礎	クライアント中心療法	〃
5.	発達障害とその支援		〃
6.	臨床心理学的コミュニケーション総説	非言語的コミュニケーション	福森
7.	〃	言語的コミュニケーション	〃

8.	行動療法	系統的脱感作法, オペラント技法	境
9.	不登校・ひきこもりへの支援		〃
10.	非行への支援		〃
11.	うつ病に対する認知療法, 認知行動療法		佐藤
12.	心身症に対する認知行動療法	摂食障害, 歯科心身症等	〃
13.	外傷経験時の心理的問題とその支援	概説	内海
14.	外傷後ストレス障害への心理療法	持続エクスポージャー法を中心に	〃
15.	遊戯療法	虐待, 外傷後ストレス障害との関連において	〃
16.	試験		佐藤・内海

Evaluation Criteria) 筆記試験。100点満点で60点以上のものを合格とする。

Re-evaluation) 行わない。

Textbook)

- ◇ 教科書:使用しない。
- ◇ 参考書:適宜, 紹介する。

Reference) [参考資料]

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217362>

Contact)

⇒ satoken@ias.tokushima-u.ac.jp